

## 「2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金」(第3次) 助成事業報告書

提出日 令和4年 4月 7日

団 体 名	特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター			
代 表 者	役 職	代表理事	氏 名	桑田 雅子

助成事業名	誰ひとり取り残さない復興のための千葉南部災害支援センター事業			
助 成 金 額	500,000 円			
事業実施期間	2021年 8月 1日 ~ 2022年 2月 28日			

### 【1】 事業概要

※申請書の「事業概要」を踏まえ、実際に実施した概要を記載ください(500字以内)。

令和元年房総半島台風の発災から、時間が経ち、復興のフェーズも終わりに向かっているなか、地域には、今なお被災後の状況のままの生活を余儀なくされている方々があります。地域の復興が進め進むほど、そのような方々は地域で孤立を余儀なくされており、被災家屋の応急修理に対する公的な支援も終了していたり、そもそも罹災証明を取得していなかった方も多く、自力での復興以外に、もとの生活を取り戻す道もないなか、経済的な理由などにより修理等が行えず、多くの方が、未来への希望をなくした状態で日々を送られています。

そこで、災害ボランティアセンターや行政の支援窓口がなくなったのちも、相談対応のできる窓口としての千葉南部災害支援センターの活動を続けてきました。県内で活動する支援団体、災害救援ボランティアと協力し、市町村の境を越えて、被災された方からのニーズに応え、屋根作業や家屋の対応を行いました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、県外支援団体の活動が制限され、県外からのボランティアの受入もできない状況が長引くなか、地域でのひとりでも多くの人材を育成するために、実際の被災家屋を利用して、OJT 講習会の開催を行いました。

### 【2】 実施内容

※実施内容(時期・対象者・何を・どのように)、数値的な実績(スタッフやボランティアの人数・参加者数・成果物の数量等)、連携した組織等について具体的に詳細をご記入ください。

- 2021年8月1日より、2022年2月28日まで、転送電話を利用して、対応スタッフ1名にて、毎日、電話対応を実施。被災された方からの相談、ブルーシート展張依頼、カビ取りなどの依頼に対応。(7ヶ月の間に、新規ニーズ12件、再ニーズ9件、支援団体からのニーズ4件に、災害救援レスキューアシスト、ピースポート災害支援センター、リバイブ、千葉ボラサポート、アパッチなどの災害支援団体と連携して対応。その他、市町村を越えたニーズ調整なども実施。参加ボランティア人数47人)
- 消防士などを対象にした被災家屋を使ったブルーシート展張OJT講習会を、木更津市にて12回開催(講師 災害救援レスキューアシスト/ピースポート災害支援センター 参加者 消防士46人、その他18人)
- 借上型応急仮設住宅入居者向け相談会の開催(みなし仮設入居者への支援が何も行われていないまま、2年の期限が来ることに対応するために、ソーシャルワーカー3名で、電話相談に対応。9月9日に実施。)

### 【3】成果(助成事業の自己評価)

※助成事業の目標(申請書に記載の「目指す状況」)の達成度について、以下A~Cのいずれかに印をつけ、そ

の理由について具体的にご記入ください。

達成度	<input type="checkbox"/> A. 想定以上の成果が得られた <input type="radio"/> B. 概ね実施計画とおりの成果が得られた <input type="checkbox"/> C. 思うような成果が得られなかった
理由	<p>市町村や、市町村社協との連携により、ケアマネージャー、福祉職、民生委員といった方たちに、被災家屋の情報を呼びかけるチラシを 5000 枚配布したことで、発災直後会った行政の窓口や災害ボランティアセンターが閉所したあとも、被災した当時とあまり変わらず、雨漏りやカビのなかで暮らしている方たちからのニーズを掘り起こすことができ、民間の多様な支援主体による支援を実施することができたから。</p>

#### 【4】事業の総括・振り返り

※助成事業全体を振り返り、課題の設定、事業計画に対する実際の活動結果、成果の達成具合を振り返り、どの点がよかったのか、もう少し工夫が必要だったのか、今後改善するとしたらどのような点があるか等の総括を記載ください（500 字以内）。

<p>発災当初、新型コロナウイルスの感染拡大以前だったこともあり、日本中のほとんどの災害支援団体や NPO が千葉での活動をスタートさせ、今日に至るまで、多くの活動に学び、彼らのスキルを学び、多くのアドバイスをいただき、そしてこの助成のような支援をいただいで、活動を続けていくことができている。</p> <p>「災害支援は長くなる」「最後は地域の間人が活動しないと支援は継続しない」など、当初言われた言葉の意味が、発災から 2 年半が過ぎたいま、よくわかるようになりました。いまでも、「ブルーシートを展張してほしい」という電話が、月に 3~4 件はあるのが現状です。まだまだ、支援を続けていかななくてはなりません。法律に基づく公的な支援は時期が来たら終わってしまいますが、民間の多様な支援主体による継続的な支援には終わりがありません。そして同時に、次の災害への備えや、人材の育成もまた、続けていかななくてはなりません。本来、被災者への継続的な支援も、これだけ災害が多発する状況では、公的な支援が担うべきだと考えますが、現状は、NPO はじめ市民社会で担っていくしかありません。そのためにも、さらに進化していかななくてはならないと、事業を終えたいま、改めて思いを確かにしています</p>
--

#### 【5】今後の展望と次の活動予定

※助成で取り組んだ課題における今後の展望とそれに対する今後の活動予定

<p>継続的な支援を続けるなかで、当初災害の問題に見えていたものが、実は、地域の問題であり、社会の問題であることが見えるようになってきました。屋根案件として関わっていると、被災され生活再建できずにいる方々が、生活困窮や孤立、障害や DV などの困難を抱えている現実に直面します。様々な福祉サービスと連携したり、福祉事務所に同行したり、と、伴走的な支援を行う必要があり、被災者支援のフェーズに、あらたな災害ソーシャルワークの視点を持って活動していこうと考えます。</p>
--

#### 【6】広報実績

広報内容	内容
------	----

<p>1. メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等)</p>	<p>日付、記事名、媒体、リンク先等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2021 年 9 月 8 日「房日新聞」  <a href="https://bonichi.com/2021/09/08/34687/">https://bonichi.com/2021/09/08/34687/</a></li> <li>• 2021 年 9 月 8 日「産経新聞」  <a href="https://www.sankei.com/article/20210908-GLMSXNKDM5NG5FCM7SMHSZ57UA/">https://www.sankei.com/article/20210908-GLMSXNKDM5NG5FCM7SMHSZ57UA/</a></li> <li>• 2021 年 9 月 10 日「NHK 首都圏ナビ」  <a href="https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20210910a.html">https://www.nhk.or.jp/shutoken/wr/20210910a.html</a></li> <li>• 2021 年 10 月 23 日 BAY-FM「ハートラック」</li> <li>• 2022 年 2 月号、3 月号月刊「消防」</li> <li>• 2021 年 9 月号「Jレスキュー」</li> </ul>
<p>2. 広報制作物・報告書等、当該事業費を使って制作したもの</p>	<p>当該助成金を使って制作したもの (出版物、印刷物、映像等) について種類、発行・制作時期、概要リンク先、部数等</p>

※成果物制作の場合 5 部提出

活動の様子がわかる写真を 5~6 枚程度を添付または別途データをお送りください。



※本助成金の原資は多くの個人や企業の寄付によるものです。ご支援くださった方々へのメッセージをお願いします。

地域が自然災害に見舞われたとき、その復興は、思っているよりも多くの時間を要します。令和元年の9月に、千葉県を直撃した、令和元年房総半島台風も同様です。もちろん、多くの家屋は修理され、また、解体された家屋も、多くは建てなおしが済んでいます。そのなかに、まだまだ取り残されたように、被災時のまま、雨漏りする家で生活をされている方もいらっしゃいます。公的な支援や、救済も無い現在、NPOや市民活動団体の支援だけが頼りの方々です。私たちは、みなさまからのご支援・ご寄付により、現在も活動を継続することができています。みなさまのご厚意に、こころより感謝いたします。これからもどうぞよろしくをお願いします。

【その他】本プログラムや当財団への要望などありましたら、自由に記入してください。

寄付者へのメッセージ同様ですが、公的な支援がなくなったいま、市民社会で支援を行うしかないのが現状です。制度や政策に反映させていくためにも、千葉県の事例を今後も発信していきたいと思えます。ご支援いただきありがとうございます！

## 決算報告

### 収入

費目		金額(円)
2019 千葉県台風・豪雨災害支援基金助成金		500,000
その他		
収入合計		500,000

### 支出

費目	算出根拠	金額(円)
貸借料	事務所賃料@23,500×7ヶ月	164,500
貸借料	倉庫賃料@23,500×7ヶ月	164,500
通信費	携帯電話料金7ヶ月	111,932
消耗品費	インク、運搬ケース、収納ラック	38,600
支出合計		479,532

※領収書の写しを添付してください。